

第3学年「総合」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○関心や意欲が高く、前向きに学習に取り組もうとしている。

課題 ▼課題を解決することで満足してしまい、新たな探求課題を設定することに困難を感じる。

▼自主性に欠ける。探究学習の基盤を身に付ける必要がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 様々な学習・経験と結び付けながら、課題解決に必要な技術を身に付ける。
- ◇ 探究のプロセス（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現）を通して、実際に考え、判断したり表現したりする力を身に付ける。
- ◇ 自分で課題を立て、前向きに課題と向き合う力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 自分の身近な事象から、多面的・多角的に物事を捉え、よりよく生きていこうとする意欲や態度を高める。

言語活動の工夫

- 課題解決のために、必要な情報を自分で収集・分析・整理していく力を身に付けていく。

I C T 活用の工夫

- 探究ノートを活用して、思考を整理し、新たな問いを見いだす探究スパイラルを身に付けていく。

課題解決力育成の工夫

- 自らの問いをもち、調べる学習コンクールなどの機会を生かして、納得のいく答えを導き出す経験を積み重ねていく。

達成目標

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 - 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
 - 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら社会に参画しようとする態度を養う。